

令和4年度地方創生交付金事業の検証について

交付対象事業名	事業内容	総合戦略 項目	実施期間	事業費 (円)	交付金額 (円)	KPI			事業効果
						項目	目標値	実績値	
1 人の流れや投資を呼び込む「新たな都市ブランディング」推進事業	北九州市が採用した戦略的広報を担当する民間のクリエイティブディレクターを活用し、圏域のリブランディングを図り、戦略的な情報発信を行う。また、農水産物・特産品や産業遺産などのブラッシュアップを行い、ホームページの充実化を図る。	②-3 ④-7	R3.4 ~R8.3	200,000	100,000	北九州都市圏域の年間観光客数	3,665万人 (H31)	2,542万人 (R4)	福岡都市圏でのPRイベント2件で特産品を出品したほか、北九州市の情報サイト「北九州ノコト」への掲載を行い、PRを図ることができた。
						北九州都市圏域の年間宿泊者数	179万人 (H31)	209万人 (R4)	

令和4年度地方創生交付金事業の検証について

交付対象事業名	事業内容	総合戦略項目	実施期間	事業費(円)	交付金額(円)	KPI・実績(県全体)	事業分析
1 福岡県移住・就業マッチング・起業支援事業	<p>人口減少対策のため、生産性の高い産業や地域に根ざした産業の振興による雇用の創出や学びの場の充実等により若年人口の減少対策に取り組んでいるところであるが、それらに加えて、中小企業にとっての即戦力となる世帯主年齢層の移住・UIJターンを促進することにより、一層の人口抑制や地場企業の活性化を図るため、東京圏からの移住者のうち要件を満たす者に対して移住支援金を支給するもの</p> <p>(※県では、移住支援金に加えて、マッチング支援、起業支援を実施している)</p>	②-1	H31.4 ～R6.3 (※本町はR2年度から参加)	0	0	下記のとおり	R4年度中に数件の相談があったが、要件を満たさず、実績なし。 現在、東京圏からの移住者のみを対象としているが、今後、県の拡充要件により、大阪圏、名古屋圏など範囲を広げるか今後検討予定。

●KPI及び実績

KPI	事業開始前(現時点)	2019年度増加分1年目	2020年度増加分2年目	2021年度増加分3年目	2022年度増加分4年目	2023年度増加分5年目	2024年度増加分6年目	KPI増加分の累計
本移住支援事業に基づく移住就業者数(人)	0	30	100	100	100	100	100	530
▲実績		0	1	1	33	—	—	—
本移住支援事業に基づく移住起業家数(人)	0	4	4	4	4	4	4	24
▲実績		0	0	1	0	—	—	—
【参考：県事業】本起業支援事業に基づく起業家数(人)	0	10	10	10	10	10	10	60
▲実績		9	9	4	2	—	—	—
【参考：県事業】マッチングサイトに新たに掲載された求人	0	180	320	320	320	320	320	1,780
▲実績		307	303	256	572	—	—	—

令和4年度地方創生交付金事業の検証について

交付対象事業名	事業内容	総合戦略項目	実施期間	事業費(円)	交付金額(円)	KPI・実績(県全体)	事業分析
1 北九州空港利用促進による地域活性化	北九州空港利用促進による地域活性化のために下記の事業を行う。 ○効果的なインバウンド・アウトバウンド集客プロモーションによる利用者増加のための事業。 ○輸出入通関体制構築事業 ○貨物集積促進事業 ○集貨促進PR及び貨物流動調査 など	①-1 ①-5 ②-3	H31.4 ～R6.3 (※本町はR4年度から参加)	5,507,000	2,753,500	下記のとおり	R4年度は、「認知度向上事業」、「旅行会社の招へいを通じた北九州空港の露出強化事業」、「旅行会社による商品造成への助成を通じた北九州空港の露出強化事業」、「貨物集積促進事業」を実施。

●KPI及び実績

KPI	事業開始前(現時点)	2019年度増加分1年目	2020年度増加分2年目	2021年度増加分3年目	2022年度増加分4年目	2023年度増加分5年目	2024年度増加分6年目	KPI増加分の累計
国際線利用者数(万人)	34	12	6	4	2	4	—	28
▲実績(下線は見込み)		0	0	0	<u>0</u>	—	—	0
北九州空港における貨物取扱量(千トン)	9	8	13	2	7	10	—	40
▲実績(下線は見込み)		0.3	6.1	6.6	<u>9</u>	—	—	22
輸出入通関体制構築進出企業数(社)	0	1	1	1	1	1	—	5
▲実績(下線は見込み)		1	1	1	<u>1</u>	1	—	5
テクニカルランディング便数(瓶)	0	1	2	2	2	2	—	9
▲実績(下線は見込み)		0	0	1	<u>2</u>	—	—	3